

日時：令和3年12月13日(月) 9時30分～11時30分

理事数：19名(理事定数10名以上20名以内、定款第11条)

出席理事：19名 坂本秀生(理事長)、三善英知、山藤 賢、坂口みどり、市野直浩、小野川 傑、齋藤良一、吉田祥子、井口文子、中前雅美、野島順三、古閑公治、松林こずえ、山口 聡、高崎昭彦、目黒玲子、關谷暁子、大瀧博文、高田智世

出席監事：2名 齋藤邦明、上原昭浩

## 報告事項

1) 第15回日本臨床検査学教育学会学術大会につき、市野副理事長より以下報告があった。

第15回日本臨床検査学教育学会学術大会は藤田医科大学が担当校として、Webにて開催致しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度の開催は中止となり、延期での開催となりました。また、本学会では初めてのweb開催となり、多々ご迷惑をおかけしたこと、お詫び申し上げます。

### 開催期間

ライブ学会 令和3年8月18日(水)～19日(木)

動画上映令和3年8月18日(水)～26日(木)

参加登録人数 総数339名(会員251名、非会員4名、加盟校以外2名、学生82名)

一般演題総数112題(教育28題、学部42題、大学院42題)

### 大会1日目

特別講演-1 医師の業務のタスクシフトと臨床検査技師

特別講演-2 臨床検査技師卒前教育の改正と臨地実習の在り方について

教育シンポジウム 臨床検査技師教育の新たな取り組みに向けてーコロナ禍の講義・演習ー

1) コロナ禍におけるオンデマンドによる遠隔授業の取り組みと評価

2) オンラインによるコミュニケーション演習

### 科目別分科会

### 大会2日目

教育講演-1 「PBLのススメ-入門編と応用編」

1) PBLのススメ

2) 放射線技術学教育における問題解決型学習(problem based learning)の実践

教育講演-2 人工知能の基礎と臨床検査学領域への応用

ランチョンセミナー 次世代臨床検査システムの構築 人とロボット・AIの共生

特別講演-3 臨床検査師の未来のために

教員・学生合同研修会 臨地実習前の技能修得達成度評価の取り組みについて

(実施に向けての問題点・改善点)

1) 客観的臨床能力試験(OSCE)に向けた技能到達度評価の試みとその効果と課題について

2) 熊本保健科学大学のプレOSCEへの取り組みについて

3) 藤田医科大学における客観的臨床能力試験の取組み

4) 外部評価の試み 愛知県臨床検査技師会との連携によるOSCEの構築

クロージングトーク 多様化する臨床検査技師教育ー現在と今後ー

## 2) 委員会報告

調査研究委員会につき、委員長の吉田理事より以下の報告があった。

令和3年度調査「臨地実習前の技能修得到達度評価 実施状況調査」を本総会終了後に事務局経由で配信予定。

国家試験対策委員会につき、委員長の井口理事より以下の報告があった。

### 1. 令和3年度 日本臨床検査学教育協議会模擬試験総括

- 1) 問題作成者： 36名(24校) 前年度30名(18校)
- 2) 編集者： 29名(19校) 前年度29名(19校)
- 3) 模擬試験申込数：4,290部(79校) 前年度4,300部(76校)

昨年度より10部の減少ではあったが、200円の値上げにより842,000円の増収

### 2. 令和4年度問題作成より校正の一部を業者に委託

### 3. 令和4年度の模擬試験関連タイムスケジュール

編集委員会につき、委員長の齋藤理事より以下の報告があった。

### 1. 「臨床検査学教育」13巻2号(2021年9月1日発刊)

総説3件、報告2件、関連学会報告1件、教育機関紹介2件、国際交流1件、書評1件、編集後記

### 2. 「臨床検査学教育」14巻1号(2022年3月1日発刊予定：学会特集)

総説1件、原著1件、報告1件、特別講演2件、教育講演4件、教育シンポジウム1件、教員・学生合同研修会4件、クロージングトーク1件、関連学会報告1件、教育機関紹介1件、国際交流1件、書評1件、編集後記

### 3. 2021年度編集委員会の開催

第1回 6月16日～23日：メール会議、第2回 9月9日：オンライン会議

研修員会につき、委員長の山口理事より以下の報告があった。

2021年9月16日、11月12日にZOOMによる会議のほか、メールによる審議を実施。

### 1) 臨時総会における教員研修内容のテーマおよび講師について

講演名：改正「障害者差別解消法」と合理的配慮

～全ての高等教育機関における合理的配慮提供の法的義務化を踏まえて～

講師：熊本保健科学大学 学生相談・修学サポートセンター

(兼)保健科学部 医学検査学科 特任教授 嶋田かをる先生

### 2) 定時総会における教員研修内容のテーマおよび講師について

講演名(仮)：「新たな臨地実習開始に向けて、受入れ施設の課題と学校側に求めることなど…懸念点を整理」

講師：東京慈恵会医科大学附属病院中央検査部 技師長 池田勇一先生

### 3) 今後の教員研修会について

タスクシフトに関連した内容で計画を進行中

学会運営委員会につき、委員長の古閑理事より以下の報告があった。

第 16 回日本臨床検査学教育学会学術大会（別添 3: 第 16 回学術大会）

期 日：2022 年 8 月 18 日（木）～19 日（金）

大会長：茅野秀一（埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科）

第 17 回日本臨床検査学教育学会学術大会

期 日：2023 年 8 月 23 日（水）～25 日（金）（予定）

大会長：戸田好信（天理医療大学医療学部臨床検査学科）

第 18 回日本臨床検査学教育学会学術大会

期 日：2024 年 8 月（予定）

大会長：池主雅臣（新潟大学医学部保健学科検査技術科学専攻）

学術委員会につき、委員長の高崎理事より以下の報告があった。

1. 令和 3 年度分科会会長・副会長（変更）、学術委員（追加）を行った。

2. 「技能修得到達度評価」について

令和 4 年度試行に向けた「技能修得到達度評価」について、実施項目、評価項目についてまとめた。トレーニング項目に関しては、「A」項目、「共通」項目は必須、「B」「C」項目は養成校に一任とすることとした。

評価基準については、最低でも「A」項目より 3 項目、「共通」項目より 1 項目で試行していただくこととした（「B」「C」項目の扱いは養成校一任）。年度末までに実施方法（例）などを含めた「実施要項」を作成する予定。

3) 臨地実習指導者講習会につき、坂本理事長より以下の報告があった。

① 臨地実習指導者講習会の運営に関する覚書を、日本臨床衛生検査技師会（日臨技）と交わり、厚生労働省へ確認依頼書を日臨技と連名にて提出。

② 厚生労働省より許可を得て、日臨技側の世話人育成を目的に 10 月 17 日、24 日、31 日の日曜日に中央講習会を開催し、日臨技各支部から派遣された 93 名の世話人が誕生。

\* 常勤教員は講習会を受講せずとも、世話人調書（履歴書類類似書類）を厚生労働省へ提出することで世話人の担当可能。臨地実習調整者は調書不要で担当可能。

③ 日臨技 7 支部に日臨技から 2 名ずつが担当し、日臨技各支部内にある学校から日臨教側の連絡担当者を 2 名依頼し、各支部で開催を行えるよう調整。

④ 世話人・臨地実習調整者の選出が特定校へ負担が偏らないよう割り振り予定。

⑤ 世話人・臨地実習調整者、オブザーバーの日当は 3,000 円/日。

⑥ 詳細な実施マニュアル完成後に担当者へお渡し、事前説明を Zoom で開催予定。

⑦ 日臨技の 7 支部 都道府県区分と担当者、淡青部分は日臨教側の連絡担当者

⑧ 令和 3 年度 臨地実習指導者講習会開催日程

2 月 13 日（日） 関東甲信支部

2 月 20 日（日） 北日本支部

2 月 27 日（日） 近畿支部・九州支部（同日に 2 か所開催）

3 月 6 日（日） 中部支部

3 月 13 日（日） 中四国支部

3 月 20 日（日） 首都圏支部

4) 医歯薬出版国試対策問題集につき、坂本理事長より以下の報告があった。

臨床検査技師国家試験問題集が「日本臨床検査学教育協議会 編集」として、医歯薬出版株式会社から毎年発行されている。出版の経緯は昭和 52 年（1977 年）まで遡り、厚生省医務局医事課編集を本会前身の全国臨床検査技師教育施設協議会が引き継ぎ、現在まで至っている。

なお、執筆者が掲載されない理由は、国家試験問題集の特性上、作成者の氏名・所属の掲載は公表しないとのこと。

## 審議事項

### 第一号 委員会の委員

研修委員会：副委員の決定と委員の追加が承認された。

### 第二号議案 会員 ID 制度について

日本臨床検査学教育学会の個人会員制度の廃止に伴い、加盟校教員を構成員（会員）とみなす新たな制度が始まり数年が経過した。新制度では個別に会員 ID により、会員間の情報交換や分科会の利用を想定した掲示板機能を利用できるようになっているが、利用はほぼ無く、個人会員制度では会員にのみ送付していた学会機関誌は会員外でも閲覧できる状態になっている。

以上の観点から、新規会員 ID 発行の停止及び、掲示板機能を削除し、ホームページ改修を広報委員で検討することとした。

### 第三号議案 新規入会校

美萩野臨床医学専門学校から入会申請書が提出され、承認されたので臨時総会へ審議事項としてあげることとした。

### 第四号議案 国家試験模擬試験作成費用について

国家試験対策委員が担当してきた、レイアウト、フォント校正は外部委託、問題作成者・編集者への依頼書類の作成と発送、委嘱状の作成、集まった問題の結合作業、問題作成者・編集者謝礼金一覧の作成など、担当可能な部分は次年度から事務局へ依頼。問題校正作業については、担当した問題数分に応じた費用に対応。が承認された。

### 第五号議案 顕彰委員会の設置

以下の顕彰規定 第3条に基づき、本年度の顕彰委員会を設け、本年度の永年精励賞、名誉会員賞を選定することが承認された。

顕彰規定 第3条 顕彰の選定は、正会員または個人が推薦した候補者について、本会顕彰委員会（以下「委員会」という）の審査を経て理事長が認定する。

#### **第六号議案 令和4年度調査研究委員会の調査**

臨床検査技師国家試験合格者の誕生年月、性別を基礎情報として蓄積できるよう、調査を調査研究委員会で隔年実施している「進路状況調査」を当該目的のために利用し、情報の収集・保管をR4年度調査（2021年度分進路調査）より実施が承認された。

#### **第七号議案 国家試験問題検討委員会の発足**

令和4年2月16日実施予定の第68回臨床検査技師国家試験問題検討委員会を発足し、昭和医療技術専門学校を会場にて、国家試験問題検討を実施することが承認された。

#### **第八号議案 令和4年度定時総会日程**

以下の候補日の中から、第一と第二候補日とその前日の日曜を候補とし、日程調整することが確認された。

第一候補 令和4年5月30日（月）

第二候補 令和4年5月16日（月）

第三候補 令和4年5月23日（月）

#### **第九号議案 その他**

なし

令和3年12月17日

代表理事(理事長) 坂本秀生 印